

目的の橋に到着。初めてではない。どう料理するか。 今は、今の光。木や雑草の状況が違う。主役、脇役、借景、構成、光と影。 そんなに大袈裟ではないが、意識した次第。





山はみどり 野に花 人にはこころ

Oku-lya double vine bridges 奥祖谷二重かずら橋の由来 かずら橋は、祖谷13橋といわれ生活道として利 用されていましたが現在、西祖谷山村善徳と共に2 ヶ所だけが残っています。 奥祖谷かずら橋は、約800年前平家一族が讃岐 志度の浦の戦に破れ、祖谷の地に逃れた後、創山平 家の馬場で軍馬の調練に、また、木挽、杣、猟師等 に利用されたものです。創山信仰のため、香川県、 海部郡、高知県書美市との交易に一般生活道として も利用されていました。 野猿の由来 野猿は、川を渡る目的で設置された人力の索道で す。川の両岸にワイヤローブを渡し、このローブに 「屋形」と呼ばれる籠をつり下げています。利用者 は屋形に乗り、別に渡されたローブをたぐることで 屋形を前進させます。この様子が猿に似ていること から「野猿」と呼ばれ、古くは実用の交通手段とし て利用されたものです。

